



令和4年度の所掌事務の遂行の状況

令和5年5月

有明海・八代海等総合調査評価委員会

有明海及び八代海等を再生するための特別措置に関する法律第25条第3項に基づき、令和4年度の有明海・八代海等総合調査評価委員会の所掌事務の遂行の状況を公表します。

～ 内 容 ～

- I 所掌事務の遂行の状況
- II 主な審議の結果

令和4年度においては、令和4年3月に中間取りまとめが報告されたことから、一部委員の改選を行うとともに、令和8年度報告の取りまとめに向け、中間取りまとめを踏まえた作業の方針に係る審議を主に行いました。

委員会での審議状況(令和4年度)

開催委員会	委員会での検討事項	委員会による審議結果
第50回評価委員会 (令和5年1月12日)	<ol style="list-style-type: none">令和8年度報告書取りまとめに向けた今後の審議の進め方所掌事務の遂行の状況に係る分かりやすい形での公表について 〔令和3年度「所掌事務遂行状況資料」の審議含む〕	<ul style="list-style-type: none">有明海・八代海等総合調査評価委員会での今後の審議の進め方等について決定所掌事務の遂行の状況に係る資料作成及び公表方法等について決定 〔令和3年度「所掌事務遂行状況資料」は令和5年2月21日に公表〕
第10回小委員会 [水産・海域小委の合同開催] (令和5年2月13日)	<ol style="list-style-type: none">小委員会の作業方針	<ul style="list-style-type: none">小委員会の作業方針について決定小委員会における今後の情報の収集・整理・分析等の方向性について決定
第51回評価委員会 (令和5年3月24日)	<ol style="list-style-type: none">第10回小委員会における取組再生方策の取組状況令和4年度所掌事務の遂行の状況に係る分かりやすい形での公表について	<ul style="list-style-type: none">第10回小委員会の取組の確認各関係省庁の再生方策の取組状況の確認令和4年度「所掌事務遂行状況資料」の検討

1. 今後の審議の進め方（第50回）

次の事項を含む「今後の審議の進め方」について決定しました。

- ・ 有明海・八代海等で生じている生態系、水産資源を巡る問題点（「ベントス（底生生物）の変化」、「有用二枚貝の減少」、「ノリ養殖の問題」及び「魚類等の変化」の4項目）とその原因・要因等について、既往又は今後の調査・研究の成果等を踏まえて継続して究明を進める。
- ・ 再生方策の実施状況及びその成果、再生目標の達成状況等を整理・評価（評価手法の検討含む）することとし、これらの作業を踏まえ、令和8年度委員会報告では、令和8年度以降の再生目標及び再生方策の方向性を示す。
- ・ 委員会の下部組織として設置している水産資源再生方策検討作業小委員会（水産小委員会）及び海域環境再生方策検討作業小委員会（海域小委員会）において、気候変動の影響、社会変化の影響、鳥類等陸域の生態系などの新たな分野を加え、情報の収集・整理・分析並びに再生方策の検討等の作業を進める。

2. 小委員会の所掌事務及び作業分担（第50回）

議事次第及び資料
は [こちら](#) をクリック

水産小委員会においては水産資源を巡る問題点並びに漁場環境の特性に関する情報について、海域小委員会においては海域環境並びに生態系の特性に関する情報について収集・整理・分析並びに再生方策の検討を行うこととしています。

小委員会については現状を基本に、両小委員会での議論の共有・連携強化のため、両小委員会相互で委員のオブザーバー参加や、検討段階に応じて合同にて開催する等、横断的な視野が持てるような開催方法も検討します。

表 小委員会の作業分担

区 分	水 産 小 委	海 域 小 委
各小委員会で情報収集・整理・分析する事項 <<所掌事務>> ①問題点及び特性、②原因・要因	○水産資源 （有用二枚貝、ノリ養殖、魚類養殖等、及びそれらの餌料生物） ○漁場環境 （赤潮、貧酸素水塊等を含む。）	○海域環境 （汚濁負荷、水質、底質、 生物生息環境 ） ○生態系 （ベントス、魚類、 鳥類 等）
各小委員会で情報収集・整理し、必要に応じて両小委員会を合同で開催して検討する事項 <<所掌事務>> ③再生目標、④再生方策	○赤潮・貧酸素水塊等の被害予防・軽減策 ○漁場改善技術 ○増養殖技術 ○関連施策(規制、振興策等)	○自然環境の保全・再生技術 ○汚濁負荷管理 ○関連施策(規制等)

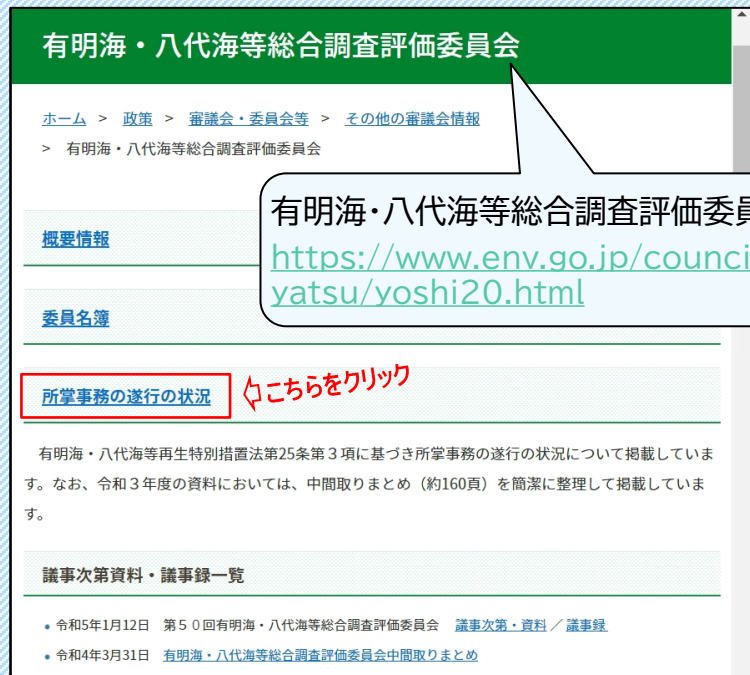
※ 赤文字は中間取りまとめを踏まえ、新たに追加された項目。また、気候変動の影響や社会経済情勢の変化の影響などについては両小委において考慮するものとされています。

3. 所掌事務の遂行の状況に係る資料作成及び公表方法（第50回）

有明海・八代海等総合調査評価委員会の所掌事務の遂行の状況に係る資料作成及び公表方法について方針を決定しました。

また、令和3年度所掌事務の遂行の状況に係る資料を有明海・八代海等総合調査評価委員会のホームページにおいて公表しました。

議事次第及び資料は [こちら](#) をクリック



有明海・八代海等総合調査評価委員会

ホーム > 政策 > 審議会・委員会等 > その他の審議会情報
> 有明海・八代海等総合調査評価委員会

概要情報

委員名簿

所掌事務の遂行の状況 [こちらをクリック](#)

有明海・八代海等再生特別措置法第25条第3項に基づき所掌事務の遂行の状況について掲載しています。なお、令和3年度の資料においては、中間取りまとめ（約160頁）を簡潔に整理して掲載しています。

議事次第資料・議事録一覧

- 令和5年1月12日 第50回有明海・八代海等総合調査評価委員会 [議事次第・資料 / 議事録](#)
- 令和4年3月31日 [有明海・八代海等総合調査評価委員会中間取りまとめ](#)

有明海・八代海等総合調査評価委員会URL
<https://www.env.go.jp/council/20ari-yatsu/yoshi20.html>



Ministry of the Environment
Government of Japan 

令和3年度の所掌事務の遂行の状況
～中間取りまとめの概要など～

令和5年2月

有明海・八代海等総合調査評価委員会

- (1)根拠条文:委員会は、毎年、その所掌事務の遂行の状況を分かりやすい形で公表するものとする。【特別措置法第25条第3項】
- (2)留意事項:有明海・八代海等総合調査評価委員会の所掌事務の遂行状況の公表に当たっては、有明海及び八代海等における環境等の変化の原因・要因、再生の方策が分かりやすいものとなるよう十分に配慮すること。【附帯決議(衆議院・参議院)から関係箇所抜粋】

4. 小委員会の作業方針（第10回小委員会）

議事次第及び資料
は [こちら](#) をクリック

次の事項を含む「小委員会の作業方針」について決定しました。

- ・ 国及び関係県等が今後行う調査・研究開発による結果やこれまでにモニタリング調査等で蓄積されたデータを活用し、環境変化のメカニズムや要因等の解明につながるデータの分析・解析に取り組むこととし、環境変化の状況や相互作用等の事象を再現できる数値モデルの有効活用等、最新の知見を踏まえて、問題点の原因・要因の解析・解明や効果的かつ有効な取組の分析等を行う。
- ・ 平成28年度委員会報告で示された再生方策について、関係省庁及び関係県から適宜報告を受けつつ、再生方策の実施状況及びその成果を収集・整理・分析する。
- ・ 小委員会での作業を進める際に、以下の事項についても留意する。
 - (1) 関係者による連携強化と情報の発信・共有の推進
 - (2) 再生目標と再生方策等の関連性と他事業等との連携の強化
 - ① 連関図の発展
 - ② 「順応的な方法」による取組の在り方
 - ③ その他の連携・関連施策（気候変動の影響に対する取組などの情報収集等）

5. 再生方策の取組状況の確認（第51回）

議事次第及び資料は [こちら](#) をクリック

ベントス、有用二枚貝、ノリ養殖、魚類等、生息環境に関し、環境省、農林水産省、国土交通省等の関係省庁等が実施している再生方策の取組状況を確認しました。

ベントス

- ① ベントス群集・底質のモニタリング及び変化・変動要因の解析調査の実施

それぞれの再生方策（下線部）をクリックすると、取組状況の頁にジャンプします。

有用二枚貝

- ② 広域的な母貝集団ネットワークの形成

浮遊幼生の移動ルート及び稚貝の着底場所の詳細な把握、母貝生息適地の保全・再生、母貝生息適地への稚貝放流・移植等

- ③ タイラギ立ち枯れへい死等の原因・要因の解明

- ④ エイ類等の食害生物の駆除・食害防止策の実施

魚類等

- ⑤ 種苗生産・育成等の増養殖技術の確立、種苗放流・移植の推進
- ⑦ 魚類等の資源量動向のモニタリングの実施

- ⑥ 二枚貝の資源管理方法の早急な確立・実施

- ⑧ 貧酸素水塊の軽減対策

汚濁負荷量の削減、カキ礁造成、貧酸素水塊の発生状況モニタリングの継続実施、底層溶存酸素量の類型指定等

- ⑨ 泥化対策等の底質改善（覆砂、海底耕耘、浚渫、作濡等）、アサリ採苗器の設置等の実施

- ⑬ 赤潮発生の予察、発生機構の解明

- ⑭ モニタリング体制の強化、防除技術に関する研究の推進等による赤潮被害の軽減等

- ⑮ 藻場・干潟・カキ礁の分布状況等の把握及び保全・再生

生息環境

- ⑯ 河川からの土砂流出状況の把握、適切な土砂管理、ダム堆砂及び河道掘削土砂の海域への還元等の検討

- ⑰ 漂流・漂着・海底ごみ対策の推進

ノリ養殖

- ⑩ 適切な漁場利用によるノリ漁場環境の改善

- ⑪ 酸処理剤や施肥剤に由来する栄養塩や有機酸量の継続的な確認、調査・研究等

- ⑫ 高水温耐性品種等のノリ養殖技術の開発

5. 再生方策の取組状況の確認（第51回）

議事次第及び資料は [こちら](#) をクリック

対象種等	再生方策	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
ベントス	①ベントス群集・底質のモニタリング及び変化・変動要因の解析調査の実施	国営干拓環境対策調査等 [底生生物調査]	➡	➡	➡	➡	➡	➡
		閉鎖性海域環境保全推進等調査 [底質及びベントスの調査等]	有明海・八代海等再生評価支援事業 [底質及びベントスの調査等]	➡	➡	➡	➡	➡
有用二枚貝	②広域的な母貝集団ネットワークの形成 (浮遊幼生の移動ルート及び稚貝の着底場所の詳細な把握、母貝生息適地の保全・再生、母貝生息適地への稚貝放流・移植等)	有明海特産魚介類生息環境調査 [アサリ・タイラギの浮遊幼生調査、着底稚貝調査]	有明海特産魚介類生息環境調査 [アサリ・タイラギの浮遊幼生調査]	➡	➡	有明海特産魚介類生息環境調査 [アサリ・タイラギの浮遊幼生調査・母貝団地造成等]	➡	➡
		各地域の特性に応じた有明海の漁場環境改善実証事業 [浮泥の抑制、除去による二枚貝保護育成地造成技術の開発、漁場耕耘等による漁場維持、回復技術の開発等]	有明海のアサリ等の生産性向上実証事業 [母貝生息適地の造成、稚貝育成、移植による生産性向上の実証]	➡	➡	➡	➡	有明海のアサリ等の育成技術高度化実証事業 [天然採苗技術を用いた育成・収穫、環境変動に対応した育成、作業効率の高い保護育成による育成技術高度化の実証]
		水産多面的機能発揮対策事業 [漁業者等が行う干潟等の保全に対して支援]	➡	➡	➡	➡	➡	➡
		閉鎖性海域環境保全推進等調査 [タイラギ浮遊幼生及び着底稚貝に及ぼす水質環境の影響評価]	有明海・八代海等再生評価支援事業 [タイラギ浮遊幼生及び着底稚貝に及ぼす水質環境の影響評価]	➡	➡	➡	➡	➡
	③タイラギ立ち枯れへい死等の原因・要因の解明	有明海水産基盤整備実証調査 [有明海湾奥東部海域における立ち枯れへい死の原因検証]	有明海水産基盤整備実証調査 [立ち枯れへい死の原因検証]	➡	➡	➡	➡	有明海水産基盤整備実証調査 [餌料環境等の改善を図るための漁場の整備方策に関する実証調査]
		閉鎖性海域環境保全推進等調査 [タイラギ種苗の移植試験と生息環境観測の実施]	有明海・八代海等再生評価支援事業 [タイラギ生息環境の評価]	➡	➡	➡	➡	➡

それぞれの再生方策（赤丸数字）をクリックすると、取組状況の資料が開きます。

農林水産省実施

環境省実施

矢印は継続を示し、見直しがあった場合に内容等を記載。

5. 再生方策の取組状況の確認（第51回）

議事次第及び資料は [こちら](#) をクリック

対象種等	再生方策	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
(続き) 有用二枚貝	④ エイ類等の食害生物の駆除・食害防止策の実施	有明海特産魚介類生息環境調査等 [アサリ・タイラギの生残調査及びナルトビエイの状況調査等]	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
		水産多面的機能発揮対策事業 [漁業者等が行う干潟等の保全に対して支援]	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
		有害生物漁業被害防止総合対策事業 [ナルトビエイの生態把握調査、出現情報収集・配信及び駆除]	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
					有明海・八代海等再生評価支援事業 [移植試験によるタイラギの生残・成長要因の検討]	➡	➡	➡	➡
有用二枚貝、魚類等	⑤ 種苗生産・育成等の増養殖技術の確立、種苗放流・移植の推進	有明海漁業振興技術開発事業 [タイラギ・アサリ・ガザミ・エツ等の種苗生産・放流・移植技術の開発]	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
		二枚貝資源緊急増殖対策事業 [タイラギの種苗生産技術の開発、アサリ等の増殖手法の実証]	➡		さけ・ます等栽培対象資源対策 [アサリ等の増殖手法の実証]				
		栽培漁業総合推進事業 [広域的な連携によるトラフグの効果的な放流手法の実証]	➡						
⑥ 二枚貝の資源管理方法の早急な確立・実施	有明海特産魚介類生息環境調査 [アサリの着底環境調査]	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
	⑦ 魚類等の資源量動向のモニタリングの実施	国営干拓環境対策調査 [魚卵・稚仔魚調査]	➡	➡	➡	➡	➡	➡	

それぞれの再生方策（赤丸数字）をクリックすると、取組状況の資料が開きます。

農林水産省実施

環境省実施

矢印は継続を示し、見直しがあった場合に内容等を記載。

5. 再生方策の取組状況の確認（第51回）

議事次第及び資料は [こちら](#) をクリック

対象種等	再生方策	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
(続き) 有用二枚貝、魚類等	⑧ 貧酸素水塊の軽減対策	社会資本整備総合交付金等 [海域の水質保全のための下水道整備に対する支援]	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
	(汚濁負荷量の削減、カキ礁造成、貧酸素水塊の発生状況モニタリングの継続実施、底層溶存酸素量の類型指定等)	国営干拓環境対策調査 [溶存酸素の観測]	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
		農山漁村地域整備交付金等 [農業集落排水施設、漁業集落排水施設の整備に対する支援]	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
		各地域の特性に応じた有明海の漁場環境改善実証事業 [カキ礁の造成のための着生材等の検討、漁場耕耘による堆積泥流出効果の実証]	有明海のアサリ等の生産性向上実証事業 [カキ礁造成による貧酸素水塊軽減の実証]		➡	➡	➡	➡	有明海のアサリ等の育成技術高度化実証事業 [二枚貝等による貧酸素水塊軽減等の漁場への影響評価]
		水産多面的機能発揮対策事業 [漁業者等が行う干潟等の保全に対して支援]	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
		赤潮・貧酸素水塊対策推進事業 [有明海における貧酸素水塊モニタリングの高度化]	漁場環境改善推進事業 [貧酸素水塊の予察技術、被害軽減手法の開発]		➡	➡	➡	➡	豊かな漁場環境推進事業 [貧酸素水塊による被害軽減技術の開発・高度化]
		循環型社会形成推進交付金等 [浄化槽の整備に対する支援]	➡	➡	➡	➡	➡	➡	
		閉鎖性海域環境保全推進等調査 [有明海湾奥部における底層溶存酸素量の連続観測]	有明海・八代海等再生評価支援事業 [有明海湾奥部における底層溶存酸素量の連続観測]		➡	➡	➡	➡	➡
		底層溶存酸素量の類型指定 [有明海を含む国が類型指定を行うこととされている水域について、類型指定を随時検討]	➡	➡	➡	➡	➡	➡	

それぞれの再生方策（赤丸数字）をクリックすると、取組状況の資料が開きます。

国土交通省実施

農林水産省実施

環境省実施

矢印は継続を示し、見直しがあった場合に内容等を記載。

5. 再生方策の取組状況の確認（第51回）

議事次第及び資料は [こちら](#) をクリック

対象種等	再生方策	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
有用二枚貝、魚類等、生息環境	⑨ 泥化対策等の底質改善（覆砂、海底耕耘、浚渫、作滞等）、アサリ採苗器の設置等の実施	有明海特産魚介類生息環境調査等 [底質攪拌調査及び覆砂による底質改善調査等]	➡	➡	➡	➡	➡	➡
		有明海水産基盤整備実証調査 [凹凸覆砂畝型工による浮泥堆積抑制効果の持続性の検討]	有明海水産基盤整備実証調査 [タイラギ等の餌料環境の改善を図る漁場整備の検討]	➡	➡	➡	➡	➡
		水産基盤整備事業（水産環境整備事業） [有明海等の海域特性に応じた漁場環境の改善を図るため、関係県の連携による漁場整備等の総合対策を支援]	➡	➡	➡	➡	➡	➡
		各地域の特性に応じた有明海の漁場環境改善実証事業 [浮泥の抑制、除去による二枚貝保護育成地造成技術の開発、漁場耕耘等による漁場維持、回復技術の開発等]	有明海のアサリ等の生産性向上実証事業 [母貝生息適地の造成、稚貝育成、移植による生産性向上の実証]	➡	➡	➡	➡	有明海のアサリ等の育成技術高度化実証事業 [天然採苗技術を用いた育成・収穫、環境変動に対応した育成、作業効率の高い保護育成による育成技術高度化の実証]
		水産多面的機能発揮対策事業 [漁業者等が行う干潟等の保全に対して支援]	➡	➡	➡	➡	➡	➡
ノリ養殖	⑩ 適切な漁場利用によるノリ漁場環境の改善	[各県] [漁場改善計画に基づき適正な柵数の維持や環境モニタリングを実施]	➡	➡	➡	➡	➡	➡
	⑪ 酸処理剤や施肥剤に由来する栄養塩や有機酸量の継続的な確認、調査・研究等	二枚貝の養殖等を併用した高品質なノリ養殖技術の開発事業 [海水と底泥における有機酸調査を周年実施]	➡	養殖業成長産業化推進事業 [海水と底泥における有機酸調査を周年実施]	➡	➡	養殖業成長産業化推進事業 [海水と底泥における有機酸調査を周年実施]	➡
		赤潮・貧酸素水塊対策推進事業 [有明海における夏季の栄養塩動態の把握]	漁場環境改善推進事業 [栄養塩の水産資源に及ぼす影響の解明]	➡	➡	➡	➡	豊かな漁場環境推進事業 [栄養塩類の水産資源に及ぼす影響の調査]

それぞれの再生方策（赤丸数字）をクリックすると、取組状況の資料が開きます。

農林水産省実施

矢印は継続を示し、見直しがあった場合に内容等を記載。

5. 再生方策の取組状況の確認（第51回）

議事次第及び資料は [こちら](#) をクリック

対象種等	再生方策	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
(続き) ノリ養殖	⑫ 高水温耐性品種等のノリ養殖技術の開発	温暖化の進行に適応するノリの育種技術の開発【農林水産技術会議プロジェクト研究】 【ノリ高水温適性素材の開発】	環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業 【ノリ高水温適性株の作出に向けた実証試験を実施】	養殖業成長産業化推進事業【ノリ高水温適性素材を用いた養殖試験、二枚貝の増養殖を組み合わせたノリ色落ち軽減技術開発】	→	→	養殖業成長産業化推進事業【ノリ高水温適性素材を用いた養殖試験、食害対策手法の開発】	→
ノリ養殖、魚類等	⑬ 赤潮発生の予察、発生機構の解明、	国営干拓環境対策調査【水質調査、プランクトン調査】	→	→	→	→	→	→
	⑭ モニタリング体制の強化、防除技術に関する研究の推進等による赤潮被害の軽減等	赤潮・貧酸素水塊対策推進事業【有明海におけるノリ色落ち原因ケイ藻の出現特性の解明と発生予察技術の開発、九州海域における有害赤潮等発生監視と発生機構の解明、広域赤潮等情報の収集・提供システムの開発、シャットネラ等による漁業被害防止・軽減技術開発】	漁場環境改善推進事業【赤潮被害防止対策技術の開発】	→	→	→	→	豊かな漁場環境推進事業 【赤潮による被害軽減技術の開発・高度化】
魚類等、生息環境	⑮ 藻場・干潟・カキ礁の分布状況等の把握及び保全・再生	水産多面的機能発揮対策事業【漁業者等が行う藻場や干潟等の保全に対して支援】	→	→	→	→	→	→
		カキ礁分布状況の調査手法の検討 【衛星画像を用いたカキ礁分布状況の調査手法を検討】	藻場・干潟分布状況調査【衛星画像を用いた藻場・干潟分布状況の把握】	→	→	△	△	△

それぞれの再生方策（赤丸数字）をクリックすると、取組状況の資料が開きます。

5. 再生方策の取組状況の確認（第51回）

議事次第及び資料は [こちら](#) をクリック

対象種等	再生方策	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
生息環境	⑩河川からの土砂流出状況の把握、適切な土砂管理、ダム堆砂及び河道掘削土砂の海域への還元等の検討	河川における土砂動態調査 [河川からの土砂流出状況の把握、ダム堆砂量調査等]	➡	➡	➡	➡	➡	➡
	⑪漂流・漂着・海底ごみ対策の推進	海洋環境整備事業 [海洋環境整備船で有明・八代海海域等を巡回し、漂流ゴミを回収。漂流ゴミの回収にあわせて、「水質・流況調査」、「底質・底生生物調査」を実施]	➡	➡	➡	➡	➡	➡
		水産多面的機能発揮対策事業 [漁業者等が行う漂流・漂着物・堆積物処理に対して支援]	➡	➡	➡	➡	➡	➡
		海岸漂着物等地域対策推進事業 [海洋ごみの回収、処理等に対する支援]	➡	➡	➡	➡	➡	➡

それぞれの再生方策（赤丸数字）をクリックすると、取組状況の資料が開きます。

国土交通省実施

農林水産省実施

環境省実施

矢印は継続を示し、見直しがあった場合に内容等を記載。